

8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (近畿)	◎	通信会社（社員）	・新型コロナウイルスの感染収束後は、従来の生活スタイルから大きく変化することが予想される。ただし、リアルからバーチャルへの変化のプロセスとして、高速のインターネット接続が欠かせない状況は変わらない。
	○	一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）	・国や各都道府県の政策に加え、新型コロナウイルスの影響で状況が頻繁に変わるため、正直なところ、先は読めない。
	○	百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルスの感染拡大が一段落すると、春物衣料を中心に景況感は上向くと予想される。
	○	百貨店（外商担当）	・新型コロナウイルスのワクチンが開発され、徐々に接種が進むと、客の購買意欲が高まり、来店頻度も増えると予想される。
	○	百貨店（販促担当）	・新型コロナウイルスの感染第1波、第2波、第3波と進むにつれて、感染の波は高くなっている一方、逆に人の動きは止まりにくくなっている。ただし、今後は感染第3波の沈静化や、世界的なワクチン接種の動きから、人の動きは活発化すると予想される。特に、春先は季節の変わり目でもあり、新型コロナウイルスの発生から1年が経過するため、徐々に開放感を求める雰囲気も強まり、消費者心理も上向くことが期待される。
	○	百貨店（外商担当）	・年末年始をステイホームで乗り切れば、2月以降の見通しは改善に向かう。
	○	衣料品専門店（販売担当）	・日本でもワクチンが接種できるようになれば、景気も戻ってくる。
	○	家電量販店（店員）	・テレワークが増え、家電量販店の商品の動きは若干良くなる。また、外に出たくても出られない状況や、年末から始まるGo To Travelキャンペーンの一時停止などで、自宅で過ごす人が増え、家での食事が余儀なくされる。その結果、調理家電の動きの増加も見込まれる。
	○	その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響については、少しずつ落ち着いてきたように感じる。一方、業種によっては厳しい企業もみられるが、全体的には知恵を絞って販売の活路を見だし、広げる努力を続けている。今後はワクチンの開発により、少しずつ良くなっていく。
	○	その他小売〔インターネット通販〕（オペレーター）	・次のカタログが出る頃であり、受注量が増えることを期待している。
	○	高級レストラン（企画）	・Go To Travelキャンペーンの再開や、新型コロナウイルスの感染者数の落ち着きといった条件次第で、需要は上向くと予想される。
	○	通信会社（社員）	・新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、需要が高まる時期である。
	○	観光名所（経理担当）	・インフルエンザなどの季節的な感染症の流行から想定すると、12月は早期の感染者が少しみられる程度で、1～2月で大規模に感染し、3月に収まっていく流れとなる。12月には増加傾向が始まるため、警戒が強まるものの、3月には減少傾向となるため、警戒が緩んで外出は増えると予想される。
	○	住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンの認可や普及により、安心感が広がると考えている。
	□	商店街（代表者）	・年が明けても、良くなるとは思えない。
	□	一般小売店〔花〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がどう動くか分からないが、2～3か月で回復するとは思えない。
□	一般小売店〔衣服〕（経営者）	・これ以上売上が落ちることは今のところ考えられないが、現状のままでは景気の回復は見込めない。Go Toキャンペーンをショッピングの方でも実施しなければ、以前のような状態には回復しない。	
□	一般小売店〔菓子〕（営業担当）	・とにかく新型コロナウイルスの感染が、1日でも早く落ち着くことを願うしかない。	
□	百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルスの感染が少し落ち着くことを期待している。ただし、落ち着いたとしても、企業はこれ以上の売上低迷が続けば死活問題となり、従来以上に経済が回らなくなる可能性もある。手元資金の枯渇で商品が作れない、人件費の負担ができないといった悪循環が続くことも予想される。	

<input type="checkbox"/>	百貨店（服飾品担当）	・新型コロナウイルスの変異種の発生といった不安定要素の影響で、年始もかなりの来客数の減少が見込まれる。この状況は今後も続くと予想されるため、新しい販売手法などを試すほか、デジタル面での客との接点を多様化し、この難局を乗り切る活路を見出したい。また、高額商材の動きは良いため、時計や宝飾関連などの商材を広域にアピールする動きなどを強化し、次につなげるアクションを実施していく。
<input type="checkbox"/>	百貨店（サービス担当）	・新型コロナウイルス対策を続けているため、来客数は変わらない。インターネット通販を強化し、催事の見直しを進めることで、現状維持はできそうである。
<input type="checkbox"/>	百貨店（販売推進担当）	・新型コロナウイルスのワクチンの接種が始まれば、やや気分も上がってくる予想されるが、まだ回復には至らない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（店長）	・新型コロナウイルスのワクチンの接種開始は明るい話題であるが、日本人の慎重な気質を考えると、普及に時間が掛かるため、日常生活に戻るまでにはまだ時間が掛かる。元々百貨店は高齢者層の購入が多いため、業態の転換や、地方の百貨店の閉鎖もあり得る。
<input type="checkbox"/>	百貨店（商品担当）	・新型コロナウイルスの感染の沈静化や、ワクチンの普及が進めば、消費マインドは改善するが、今年痛手を受けた企業業績の立て直しという大きな課題が残り、雇用情勢や賃金水準が安定するまでは苦戦が続く。また、米国の次期大統領と中国との関係、EUと英国の関係、アジア情勢といった日本を取り巻く環境の改善のほか、新型コロナウイルスの感染予防策が普及してインバウンドの動きが改善することも、大きなポイントとなる。
<input type="checkbox"/>	百貨店（特選品担当）	・気温が下がり、新型コロナウイルスの影響が大きくなるなか、2～3か月先に客が戻ってくるかどうか、正直なところ分からない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（マネージャー）	・年始まで新型コロナウイルス感染の拡大傾向は続く予想される。それに伴い、年始の消費の分散化や、選択消費の傾向につながり、慎重で厳しい購買状況となる。その一方、ワクチンの有効性にもよるが、心理的な改善が進めば、一進一退の状況となりそうである。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経営者）	・医療のひっ迫などに伴い、特別措置法の改正や緊急事態宣言の発令などが行われると、4～5月と同様に日常の食品や生活用品を扱うスーパーの必要度が高まる。新型コロナウイルスのワクチンの接種が広く進むまでは、しばらく現在のよう状況が続くと予想される。ただし、少しでも安い店で買物する動きも拡大するため、利益は増えにくくなる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響がどう推移するかで変わってくる。飽くまでもイレギュラーな現象であり、見通しを立てるのは難しい。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響は長引きそうで、観光業や飲食、アパレル関連のダメージは大きい。一方、スーパーの来客数は前年比10%減で推移しているものの、以前ほどの自粛ムードはなく、それ以上のダウンにはなっていない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店員）	・新型コロナウイルスの感染はまだ落ち着かない様子であれば、家での食事が増えるため、今と大きくは変わらない。ただし、週末のまとめ買い客も増えるため、平日は客が少なくなると予想される。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルスの影響に変化はない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	・食品スーパーとしては、新型コロナウイルスの感染が収束しない状況では、来客数が減り、単価が上昇するという傾向は変わらない。ただし、4～5月のような爆発的な売上増加にはつながらない。今後は、ニューノーマルとしての客のニーズに応えることが重要となる。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・当面、新型コロナウイルスの感染者数が大幅に減ることはない。企業のリモートワークが更に拡大し、数か月は来客数が低水準のまま推移すると予想される。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染がすぐに落ち着くとは考えられず、おでんなどの季節商材を売ることができないため、現状と大きくは変わらない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・来年も新型コロナウイルスの影響は続くような気がする。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・新型コロナウイルスの影響が続く限り、大きな変動はない。

<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着かなければ、今の様子が続く と予想される。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・特に変化なく推移するような気がする。ここ数か月は余り状態が 変わっていないため、大きく変化することはない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルスの感染第3波の収束時期がみえず、先行きが見 通せない。3か月後に状況が上向くか下向くかの判断は難しい。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店員）	・新型コロナウイルスの影響もあり、購買意欲は必要最小限の身の 回り品に向かう傾向がある。私に対応する住宅設備などは、工事に 日数が掛かることもあり、当分は契約までのスピードが更に遅くな ると感じている。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染第3波、変異種の発生など、今後はま すます外出できない状況が続く。移動販売など、高齢者でも安心し て買物ができる仕組みを、政府の主導で支援、推進する必要がある。 る。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・新たなプラス要因が見当たらず、新型コロナウイルスの感染状況 についても不透明である。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・新車の販売や車検台数の予約は良くないが、中古車は売られてい る。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（販売担 当）	・新型コロナウイルスの感染第3波や変異種の発生などで、余り良 い方向に動くとは思えない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔ガソリン スタンド〕（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大による影響が見通せない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔宝飾品〕 （販売担当）	・新型コロナウイルスの感染収束が、景気の回復に多少は影響する と考えられるが、この数か月はまだ見通しが立たない。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（スタッ フ）	・1月も時短営業が続くことになり、先行きに明るさはまだみられ ない。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営 者）	・新型コロナウイルスのワクチンがそろそろ実用化されるものの、 一般的に普及するまでにはまだまだ時間が掛かる。安心感が広がれ ば、景気も回復していくと予想されるが、それまでには時間が掛か りそうである。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（店員）	・新型コロナウイルスの感染者が増え続けているが、消費者は以前 よりも気にしていないと感じる。これ以上は変化がない。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（経営者）	・観光業はGo To Travelキャンペーンの一時停止で、 目先真っ暗の状態が続いている。新型コロナウイルスの感染者はそ う簡単には減らず、一気に減る可能性はない。
<input type="checkbox"/>	観光型旅館（団体役員）	・新型コロナウイルスの感染収束が見通せない状況であり、景気が 回復する期待は薄い。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（管理担 当）	・新型コロナウイルスの感染者数は過去最多を更新しており、Go Toキャンペーンなどの対策も、停止期間が延長される可能性が高 い。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（店長）	・現状は新型コロナウイルスの影響で非常に悪くなっている。良く なる材料もなく、Go To Travelキャンペーンの一時停 止も継続することが予想される。新型コロナウイルスの感染者も増 えているため、悪くはなっても、良くはならない。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（支店長）	・英国での変異種の発生のほか、新型コロナウイルスの感染収束も みえない。昨今の報道の影響で、一時はウイルスに慣れて旅行や外 出を始めていた客が、再び停滞し始めている。ワクチンの接種が始 まらなければ、今の状況は変わらないと感じる。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・例年であれば、多くの人が動く時期であるが、今年は政府からの 外出自粛要請もあり、不要不急の外出は減っている。新型コロナウ イルスの感染が収束しない限り、今の状況が続く。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・今の状況を表現しようがなく、言葉が出てこない。
<input type="checkbox"/>	遊園地（経営者）	・11月後半以降、新型コロナウイルスの感染第3波の影響で業績は 急減速し、現時点でも回復の兆しがみられない。感染状況の改善が なければ回復はなく、見通しすら立たないため、余り希望はもてな い。

□	競艇場（職員）	・6～8月に掛けて、ステイホームの影響で電話投票やインターネット投票の売上が激増したのに比べ、若干の陰りはあるものの、今月は高いレベルで安定した売上となっている。今後も新型コロナウイルスの感染状況に左右されるが、しばらくは現状維持が続くそうである。
□	その他レジャー施設〔複合商業施設〕（職員）	・まずは、医療のひっ迫が解決しなければ、経済の活性化に向けた取組も進まない。
□	その他レジャー施設〔球場〕（経理担当）	・2月はコンサートが5日間予定されている。3月からは、プロ野球のオープン戦や公式戦が予定されているが、新型コロナウイルスの感染状況次第では、中止や無観客になる可能性がある。なお、3か月後の状況は不透明なため、現状と変わらないと考えている。
□	その他サービス〔マッサージ〕（スタッフ）	・アロマオイルのマッサージで服を脱ぐため、寒い時期は来客数が減少する。春先はまだ寒いので、余り変わらない。
□	その他住宅〔展示場〕（従業員）	・新型コロナウイルスの感染者数の増加で、インターネットで見学を予約してから来場する客が増加している。いわゆる遊び客が減少した点は良かったが、本来の展示場の活気はなく、当分は改善が見込めない。
□	その他住宅〔情報誌〕（編集者）	・一部で不安定さはあるものの、住宅業界はある程度、堅調な動きが続く。ただし、年収の減少に対する不安から、今後は一次取得市場の落ち込みが懸念される。
□	その他住宅〔住宅設備〕（営業担当）	・全て新型コロナウイルスに振り回された2020年であり、政府への不満が募るばかりであった。来年以降は、ワクチンの接種などで好転することを期待したい。
▲	一般小売店〔時計〕（経営者）	・新型コロナウイルス関連のニュースが増える一方であり、客の雰囲気も含め、明るさは感じられない。実際に、Go To Travelキャンペーンを利用した人もいれば、利用をやめた人もおり、客の中でも考え方が分かれるため、落としどころはなかなか難しい。
▲	一般小売店〔野菜〕（店長）	・良くなる要素が見当たらない。新型コロナウイルスの感染が収束しても、関東では東京オリンピックの特需はあるかもしれないが、関西方面は厳しい状況が続くそうである。
▲	一般小売店〔呉服〕（店員）	・新型コロナウイルスの感染が収束するかどうかによる。現状は3か月先に収まるとは思えないため、現状維持か、更に悪くなる。
▲	百貨店（売場主任）	・今後はワクチンを含めた新型コロナウイルス対策が焦点となる。今のところは、ワクチンの効果や普及が期待できる4月頃までは、苦戦が続くと考えている。
▲	百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大は、2～3か月の周期で減少に転じるとは考えられない。今後は、外出の自粛要請や、営業時間の短縮要請が強く出されると予想され、売上の大部分を店頭販売で計上している百貨店では、来客数の減少による景況の悪化が進むと考えている。
▲	百貨店（マネージャー）	・Go Toキャンペーンの一時停止や、府内の医療体制への不安により、客足の先行きは不透明である。中高年層が客の大半を占めるため、新型コロナウイルスの感染がピークアウトするまでは、来店頻度の減少や滞在時間の短縮により、再び景況の悪化が見込まれる。
▲	百貨店（営業推進担当）	・新型コロナウイルスの感染第3波の影響は大きく、緊急事態宣言が発令される事態となれば、致命傷になりかねない。そこまではないとしても、外出の自粛を呼びかける期間が長ければ長いほど、企業の生産は減少し、個人消費は更なる減少につながると予想される。
▲	百貨店（売場マネージャー）	・新型コロナウイルスにより、まだ景況に悪影響が出ると感じる。会社や事業所の景況は下降気味であるため、個人消費が更に悪くなる。今のところはワクチン接種のめどが立っていないが、めどが立てば回復に向かう可能性もある。
▲	スーパー（店長）	・今後、緊急事態宣言などが出ることになれば、ますます生活防衛意識が強まる。
▲	スーパー（店長）	・外出の自粛は今後も続くと予想され、衣料品を中心に売上の減少が見込まれる。
▲	スーパー（経理担当）	・春までの新型コロナウイルスの感染収束がみえないなか、スーパーは一定の売上を維持すると予想される。ただし、ボーナスや給与所得の減少により、景況全体に悪影響が広がるのが懸念される。

▲	スーパー（販売促進担当）	・新型コロナウイルスの影響が続くなか、今後も生活習慣に変化はないと予想されるが、景況感の悪化で客単価の低下が始まれば、一気に厳しくなると感じている。所得の減少している人が増えたと感じるため、状況を注視している。
▲	スーパー（社員）	・外食産業などの業績不振や、多くの企業でみられる冬のボーナス減少の影響が、今後は当社のようなスーパーにも徐々に広がり、売上の伸び悩みにつながることを懸念される。
▲	コンビニ（経営者）	・中小企業はもう体力の限界にきている。テレビ番組では新型コロナウイルスによるプラスの発想などが取り上げられているが、今の状況でプラスの発想はできない。何をどう展開していくか、資金源も乏しいなか、良くなる職種は一部でしかない。
▲	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの影響がどうなるか、予想できない。
▲	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの感染収束は難しく、企業の体力も限界にきている。
▲	衣料品専門店（営業・販売担当）	・外出の制限が強くなり、来客数が減少しそうである。
▲	家電量販店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が落ち着く予感はない。社会全体に先行き不透明感が漂い、消費意欲が低下することで、景気が悪くなると予想される。
▲	家電量販店（人事担当）	・冬のボーナス商戦が終わると、春まで需要をけん引する商品がない。このまま新型コロナウイルスの影響が続けば、新生活需要にも悪影響が出かねない。
▲	乗用車販売店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染第3波が猛威を振るっており、今後は緊急事態宣言の発令も視野に入ってくるため、状況は悪くなっていく。
▲	その他専門店〔宝石〕（経営者）	・新型コロナウイルスへの疲れによる客の変化がみられる。消費が前に進んでおらず、その影響が年明けに大きく出てくると予想される。
▲	その他専門店〔ドラッグストア〕（店員）	・生活必需品や新型コロナウイルスの対策商品の売行きはとても良いが、感染が落ち着いてもこのまま続くかといえば、そうではない。賃金の減少やボーナスカットで安い商品しか売れておらず、ドラッグストアの売上は、新型コロナウイルス関連の需要がいかに続くかに懸かっている。
▲	その他小売〔インターネット通販〕（経営者）	・商店街では新型コロナウイルスを理由に、いかに売上を増やすかを考えようとしない店主が大半である。これからの販売方法を考えなければ、売上は減り続ける。
▲	その他小売〔インターネット通販〕（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染防止について、抜本的な対策が打てないなか、外出の自粛要請の長期化により、経済への悪影響がボディーブローのように効いてくるおそれがある。
▲	観光型旅館（経営者）	・今年の12月28日～来年1月11日まではGo To Travelキャンペーンも一時停止となり、その期間の予約はキャンセルとなっている。また、2月以降の予約もほとんどない状態である。今後の業況はキャンペーンが再開されるかに大きく左右されるため、1日も早い再開を望んでいる。
▲	都市型ホテル（総務担当）	・例年2月は中国の春節に伴うインバウンド需要が見込まれ、3月は春休みなどで観光客の宿泊が増えるが、今年は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、2月のインバウンドは全くといってよいほど見込めない。3月についても、現在の予約状況は前年を大きく下回っている。
▲	通信会社（企画担当）	・寒さが緩み、新型コロナウイルスのワクチンが日本できちんと流通するようになるまでは、感染が収束しそうにない。
▲	テーマパーク（職員）	・Go Toキャンペーン関連の施策は間違っていない。新型コロナウイルスの感染拡大がまだ収まっていない外国からの渡航を禁止しなかったことが、ここまで事態を悪化させた最大の要因と考えられる。インフルエンザよりも致死率の低い感染症に、インフルエンザよりも過剰に対処せざるを得ない状況となっていることが、そもそもの大きな間違いではないかを感じる。
▲	競輪場（職員）	・例年の傾向からすると、今後はやや悪くなる。ただし、今冬も新型コロナウイルスの感染状況で大きく変わる可能性があるため、読みにくい。
▲	美容室（店長）	・身の回りに新型コロナウイルスの感染の話が近づいているため、来年度の動きが心配である。

▲	その他サービス [学習塾] (スタッフ)	・新型コロナウイルスの感染者の増加による不安や、景気の悪さによる影響が出る。
▲	住宅販売会社 (従業員)	・年末のボーナス減少に伴い、年収が減少すれば、住宅購入に対する融資額も減る。また、新型コロナウイルスの感染拡大による一層の経済悪化により、住宅の購入マインドは悪化する。
▲	住宅販売会社 (総務担当)	・新型コロナウイルスの感染が収束しなければ、新規契約の進捗が悪く、先行きもみえない。
▲	その他住宅投資の動向を把握できる者 [不動産仲介] (経営者)	・不動産融資への返済未払いの増加、失業者の増加、企業業績の悪化などが挙げられる。
×	一般小売店 [珈琲] (経営者)	・注文数の減少した取引先の営業継続が可能とは思えない。
×	一般小売店 [事務用品] (経営者)	・仮に首都圏で再び緊急事態宣言発出となれば、メーカーを始め、様々な商品の商談や流通に影響が出るため、予想以上に厳しい年度末となる。
×	一般小売店 [衣服] (経営者)	・新型コロナウイルスの感染者数が、年明けには更に増えるかもしれない。政府は経済と感染予防の両立を目指しているが、今のところは難しいように感じる。今後、政府がどちらに力を入れるにしても、経済への悪影響は大きく、市中の金回りは一層悪くなると心配している。
×	一般小売店 [花] (店員)	・新型コロナウイルスの影響でイベントがなくなり、贈答用の注文も減っている。感染が収束する気配はなく、この先も予約は減ることが予想される。
×	百貨店 (企画担当)	・新型コロナウイルスの感染者の増加に、来客数は敏感に反応する。春先までは悪化すると予想している。
×	百貨店 (マネージャー)	・新型コロナウイルスの影響は、まだ収まる気配がない。ボーナスの減少や失業者の増加が消費を冷え込ませ、景気は更なる悪化が見込まれる。
×	百貨店 (宣伝担当)	・欧州の状況も悪いなか、輸入商材の春物の入荷に影響が出始めている。国内メーカーも生産を絞り始めているなど、懸念材料が多い。
×	スーパー (経営者)	・新型コロナウイルスの感染拡大で、人の動きが止まる。
×	スーパー (店長)	・年末年始の支出に関しては、大きな節約はみられない。ただし、1月11日の連休明け以降、新型コロナウイルスによる景気の先行き不安で、消費の減退が予測される。
×	衣料品専門店 (経営者)	・このままでは、外出したり遊びに行くことがなくなり、巣籠りの状態が続くと考えられるため、外出着が売れない。
×	衣料品専門店 (経営者)	・年末年始のイベントや会合がことごとく中止になっている。1月の新年会もほとんどが中止で、成人式も縮小ムードである。お金はあるが、消費に回っているのは一部にとどまる。新型コロナウイルスのワクチンもさることながら、治療薬ができない限り、景気は戻らないと感じている。
×	家電量販店 (店員)	・今年1年間で、一気に来年以降の売上分も上がっているため、来年は売れないと予想される。
×	乗用車販売店 (経営者)	・新型コロナウイルスの感染が改めて深刻化し、当然のように来客数が減ってきている。先行きは見通せず、五里霧中の状態である。
×	住関連専門店 (店長)	・家で過ごす時間の増加で、住まいを見直す人が増えたと報じられているが、販売の現場ではそのような傾向は感じられない。むしろ、まとまった費用が必要な住関連の出費は後回しという、以前からの意識が強まったように感じる。
×	その他専門店 [食品] (経営者)	・大手宅配チェーンなどは売上が伸びているが、卸売会社にとっては薄利な分野であり、一般の外食店などは大半が売上を落としている。利益の出る分野の売上が減っているのが現状である。
×	一般レストラン (経営者)	・歓送迎会もなくなる見込みであり、やはり大きな宴会などの予約が入らなければ厳しい。
×	一般レストラン (企画)	・新型コロナウイルスの感染状況が悪くなるなか、営業活動が改善するとは考えられない。対策が更に強化される要素しか見当たらず、悪くなるとしか予測できない。
×	その他飲食 [ファーストフード] (店員)	・夏頃は新型コロナウイルスの感染者数が減少していたが、冬になって増加している。今後2～3か月間は、客の動きはかなり鈍くなる。

	×	観光型ホテル（経営者）	・Go To Travelキャンペーンの一時停止がいつ解除になるかわからず、新型コロナウイルスの感染拡大が収束するまでは、非常に厳しい状況が続くと予想される。
	×	観光型旅館（経営者）	・先が見通せない。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスの感染第3波の影響が大きく、宴会や会議の延期が続いている。4月以降の開催予約は入っているものの、あらかじめキャンセル規定の確認を客から受けている。レストランは通常営業を続けていることもあり、ランチは好調に予約が取れているが、ディナーでの団体客は見込めないため、高単価商品で収入の確保を目指す。一方、客室はGo Toキャンペーンの停止などで、一斉キャンセルが入っているため、先行きは不透明である。
	×	都市型ホテル（フロント）	・Go To Travelキャンペーンが12月28日から全国で一斉に停止となったほか、新型コロナウイルスの変異種も発生している。今後、感染者数が激減することがなければ、停止の延長もあり得る。
	×	都市型ホテル（販売促進担当）	・客室部門は、現時点での1～3月の先行予約が10～11月時点の約30%に減少しており、景気は下向いている。Go To Travelキャンペーンの全国停止が解除されず、延長されることになれば、先の予約もキャンセルが増える予想される。宴会、会議の予約や問合せは全く入らず、客による自粛の動きが感じられる。
	×	都市型ホテル（管理担当）	・今後はますます新型コロナウイルスの感染者の増加が続くと予想される。新型コロナウイルスの感染拡大への抜本的な対策を行わない限り、改善されるとは考えにくい。
	×	都市型ホテル（客室担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大を抑える、予防ワクチンの開発が望まれる。中途半端に経済を回さず、治療薬やワクチンを開発することが急務である。
	×	旅行代理店（従業員）	・Go To Travelキャンペーンなど、新型コロナウイルスとの共生を前提とした経済政策がなければ、更に観光産業や地場産業、飲食業などは疲弊することになる。
	×	旅行代理店（役員）	・Go To Travelキャンペーンを既に利用した客も、相当な数に上ることから、反動で旅行控えが進むことも予想される。
	×	タクシー運転手	・企業関係の予約状況でいえば、年末年始の挨拶回りが全てキャンセルとなっている。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの影響で、外出の自粛といった不況感が漂うなか、タクシーの利用率は少なく、街は空車のタクシーであふれている。例えば、医療従事者の交通手段として政府がタクシーを斡旋し、初乗りチケットを渡すなどして、状況の改善をお願いしたい。
	×	観光名所（企画担当）	・全く先がみえず、言葉がない。
	×	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの影響は、まだまだ先が見通せない。
	×	住宅販売会社（経営者）	・ワクチンが話題になっているが、根本的に治療可能な薬剤ができなければ、感染は収束しない。
企業 動向 関連 (近畿)	◎	木材木製品製造業（経営者）	・新規事業の効果で、増収増益となることが見込まれる。
	◎	電気機械器具製造業（経営者）	・当社の主力製品の需要が少しずつ回復しているほか、特殊事情への期待もある。当社の紫外線やオゾン関連製品が、新型コロナウイルスの影響が長引くなか、来年から本格的に業績向上に貢献することが期待される。
	○	プラスチック製品製造業（経営者）	・来年4月からの案件であるが、試作依頼や新規の受注が増えてきている。
	○	窯業・土石製品製造業（管理担当）	・来年の2月後半～3月に掛けて、日本国内でも新型コロナウイルスのワクチン接種が、医療従事者から開始される。期待も込めて、景気は徐々に良くなる。
	○	輸送用機械器具製造業（役員）	・搬送設備関連の引き合いが増加しつつある。
	○	建設業（経営者）	・問合せが増えてきているため、今後は受注の増加が期待できる。
	○	広告代理店（営業担当）	・年度末に向けた動きのほか、新型コロナウイルスの対策が2～3月には効果を表し、広告活動も徐々に復活すると予想される。
	□	食料品製造業（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大の波が続くため、しばらく売上は変わらないと予想される。

□	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・今後も新型コロナウイルスの影響を受けることが予想される。
□	金属製品製造業（経営者）	・多少の不安はあるが、年度内はこのまま推移すると予想される。
□	金属製品製造業（営業担当）	・年度末までは、売上は今のペースで推移する。
□	一般機械器具製造業（経営者）	・3か月先も景気が好転するとは思えない。
□	電気機械器具製造業（営業担当）	・引き合い件数が少なく、受注量も低迷している。
□	電気機械器具製造業（宣伝担当）	・消費行動に大きな変化はないと予想される。
□	電気機械器具製造業（営業担当）	・この先は見通せない。
□	建設業（経営者）	・建設業は他の業界よりも動いてはいるが、今後の発注量については不安である。官庁関係は新型コロナウイルスによる税収減少で、従来の発注量を期待することは難しい。民間工事も、設備投資より人件費に資金を回すと予想され、工事量は減少傾向となる。
□	輸送業（商品管理担当）	・前年に比べて、配達量や販売量がかなり減少している。1～2か月先も忙しくなる様子がないため、状況は変わらない。
□	輸送業（営業担当）	・大手百貨店から、お歳暮の配達という大口の注文が入った。スポットではあるが、利益は大きい。
□	通信業（管理担当）	・通常であれば、年末年始は経済が活発化する傾向となるが、今年は新型コロナウイルスの影響で景気は低迷する。
□	金融業（営業担当）	・新型コロナウイルス感染の収束に期待している。
□	金融業（副支店長）	・取引先からは、今後3か月についても、今以上に受注が増えることはないという声が多い。
□	経営コンサルタント	・新型コロナウイルスの感染拡大への有効な対応が取られず、経済は停滞した状態が続いている。変異種なども出てきており、今後も悪化する傾向は変わらない。
□	その他サービス〔自動車修理〕（経営者）	・年末の慌ただしさがなく、年明けの仕事の予定も少ない。
▲	食料品製造業（従業員）	・新商品も出しているが、テレビCMを流すわけでもない。新型コロナウイルスの影響で、外出の自粛状態が続くなか、商品を認知してもらう手段もインターネットなどで工夫して配信しているが、なかなかすぐには販売増加につながらない。
▲	繊維工業（団体職員）	・新型コロナウイルスの影響が続くなか、人や物の動きが再度ストップし、その影響が当面続きそうである。
▲	化学工業（経営者）	・受注が減少しているだけではなく、新型コロナウイルスの感染再拡大で訪問が禁止になった客も増えており、営業活動の制限が厳しくなっている。しばらくは景気の回復が見込めない。
▲	その他製造業〔履物〕（団体職員）	・新型コロナウイルスの感染第3波が発生した上に、変異種が発見されるなど、感染収束の見込みが立たず、メーカーには先のみえない状況が続いている。
▲	建設業（経営者）	・このまま新型コロナウイルスによる各種の自粛が続けば、飲食関係の企業や従業員からの受注減少が懸念される。
▲	輸送業（営業担当）	・新型コロナウイルスとリコールが重なり、客離れが予想される。
▲	経営コンサルタント	・新型コロナウイルスで売上の落ちた中小零細企業が、いよいよ倒産し始める。
▲	司法書士	・新型コロナウイルスの感染を止めることが急務であり、先行きの景気は厳しい。
▲	その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・飽くまでも12月との比較であるが、年末の新型コロナウイルスの感染者数の急増で、国民の自粛モードはより一層強まることになる。
▲	その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者が増えているため、経済も上向きにならないと懸念している。
×	繊維工業（総務担当）	・販売先の倉庫には、新型コロナウイルスの影響で残った在庫がかなりあるため、新規の発注が非常に少ない状況である。
×	化学工業（企画担当）	・年末の食品需要の増加で、一時的に販売量が増えている。ただし、年を越せば需要が減少するほか、Go Toキャンペーンの一時停止の影響も出ると予想される。



	×	不動産業（営業担当）	・東京での新型コロナウイルスの感染者が1300人を超えたとの報道があるなど、今後は緊急事態宣言を出し、ロックダウンのような状態とせざるを得ない。その結果、飲食店などの経営が苦しくなり、店舗も空いてくるため、今後はまだまだ景気が悪くなる。
	×	広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が、来月も続く予想される。
	×	その他非製造業〔民間放送〕（従業員）	・今年の業績を踏まえると、来期は改善が見込めない。
	×	その他非製造業〔商社〕（営業担当）	・新型コロナウイルス次第ではあるが、年度内は設備投資を控えて、来期に持ち越されると考えられる。
	×	その他非製造業〔電気業〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染は簡単には収束せず、先が見通せない。
雇用 関連	◎	—	—
(近畿)	○	人材派遣会社（役員）	・新しい年になり、新型コロナウイルスへの対応が落ち着いてくることを期待している。
	○	新聞社〔求人広告〕（管理担当）	・英国では感染力の強い変異種が発見されたが、今後は新型コロナウイルスの感染拡大が収まるかどうか懸かっている。日本では感染拡大に歯止めが掛からないものの、海外ではワクチンの接種が始まり、株価も順調に回復している。現状は、景気回復に向かう要素の方が多いと感じる。
	○	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・関西の地場企業の動きをみると、広告、宣伝の意欲が高まってきている。
	○	民間職業紹介機関（支社長）	・新型コロナウイルスの感染収束を見込み、人材を先行採用する企業も出てきている。
	□	職業安定所（職員）	・現状は、食品関係の製造は新型コロナウイルスの影響をまだ受けていないが、他の製造分野は影響を受けており、派遣事業所関係に影響が出ている。
	□	民間職業紹介機関（職員）	・工場や店舗などの小規模な改修工事が、大幅に減少している。企業業績が悪化しているため、今後も設備投資は抑制される可能性が高く、建設関連の求人は低調な状況が続くと予想される。
	□	民間職業紹介機関（営業担当）	・求人数は多少増えているが、求職者が減っているため、景気は余り変わらないと感じる。
	□	学校〔大学〕（就職担当）	・新型コロナウイルスの変異種の動向が心配である。
	▲	人材派遣会社（経営者）	・新型コロナウイルスの影響次第である。感染第3波、第4波に対し、政府がどのような手を打つか、ワクチンがいつ頃出てくるかで決まる。それまでは人材の動きも緩慢であり、企業は年度末に向けて、派遣契約を延長するかどうかで悩むことになる。
	▲	人材派遣会社（支店長）	・4月以降は全く見通せないため、何ともいえない。
	▲	人材派遣会社（営業担当）	・春先までは状況が好転しそうにない。ニュースでも良い情報がない。
	▲	人材派遣会社（営業担当）	・人員を増やすといった話がなく、派遣契約の終了が相次いでいる。この傾向は今後も継続しそうである。
	▲	職業安定所（職員）	・景気の先行指標である新規求人数は、10月は11.1%減であったが、11月は9.6%増と増加に転じた。今年の1月以降は増減を繰り返しており、先行きは不透明感が強い。また、3月末に向けた希望退職の募集企業の情報もあり、今後は求職者の増加が懸念される。
	▲	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染第3波の影響がどれだけ広がるかにもよるが、収束しそうにないため、雇用にも大きな影響が出る。
	▲	職業安定所（職員）	・新規求人の減少傾向が続くなど、企業の採用意欲が低下している。また、雇用保険の個別延長給付が終了した求職者も、新型コロナウイルスへの懸念から就職活動に消極的な人が多い。現状は、雇用環境の改善の兆しを感じられない。
	▲	民間職業紹介機関（営業担当）	・企業による22年卒の採用数は、21年並みの見込みであるが、学生の動きが例年よりも鈍く、まだ就活に向けて動いていない層が多い。就活サイトへの会員登録数も、例年の8割にとどまる。また、オンライン授業の一般化により、学生同士で就活情報を共有する機会がなく、自分の状況が理解できていない可能性がある。出遅れた学生は来年苦戦し、未内定者が続出することが懸念される。

	×	学校 [大学] (就職担当)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 社会の状況が悪化し、企業の経営状態が悪くなっているため、採用活動も消極的にならざるを得ない。一部の業界ではテレワーク関連の需要が増えているが、社会全体の景気を押し上げるには至っておらず、先行きは厳しい状況が予想される。</li></ul>
--	---	----------------	---